

当社の プルサーマル計画について お知らせします。

当社では、原子力発電所の使い終わった燃料を再処理して
回収されるプルトニウムを有効活用する
プルサーマル計画について、
2010年度までを目途に玄海原子力発電所3号機で
実施したいと考えています。

当社は、平成16年5月28日、
佐賀県、玄海町へ安全協定に基づく
事前了解願いを提出するとともに、
国へ法律に基づく原子炉設置変更許可申請を行いました。

今後とも、原子力発電所の安全確保を最優先に
プルサーマル計画について、
皆さまのご理解を得られるよう努めてまいります。

より多くのMOX燃料を 使用できる玄海3・4号機

プルサーマルについては、国の原子力安全委員会により、MOX燃料の利用が全炉心の1/3程度までであれば、現在の原子力発電所でも安全に実施できることが確認されています。

従って、当社の玄海原子力発電所、川内原子力発電所の6つのプラントいずれでも、プルサーマルは安全に実施できます。

そのうち大型の原子炉である玄海原子力発電所3・4号機では、1基のプラントでより多くのMOX燃料を使用できます。

■原子炉当たりのMOX燃料の使用量

(全燃料の1/4をMOX燃料とした場合)

	使用量
玄海1・2号機	約28体
玄海3・4号機	約48体
川内1・2号機	約40体

※当社では玄海3号機において、193体中最大で48体(全燃料の約1/4)のMOX燃料を使用する計画です。

十分な作業スペースを 確保できる玄海3号機

玄海3号機は燃料取り扱いのためのスペースが4号機に比べ2倍程度広いことから、MOX燃料専用の大型の輸送容器や検査装置の配置スペースが十分に確保でき、燃料受入検査等を実施しやすく、作業の安全性が十分確保できます。

以上の理由から、当社では玄海原子力発電所3号機でプルサーマルを実施する方針といたしました。